

AJA OG-HA5-12G - リリースノート v1.0

Firmware for OG-HA5-12G

全般

AJA OG-HA5-12G は、HDMI 2.0 入力を 4K/UltraHD シングルリンク 12G-SDI 出力に変換します。OG-HA5-12G は、HDMI ソースにエンベッドされた 8 チャンネルまたは 2 チャンネルのオーディオを含め、2 系統の 12G-SDI として分配出力する機能も備えています。

OG-HA5-12G は、EDID (拡張ディスプレイ識別データ) エミュレーションに対応しているため、接続ソースから設定に応じたビデオフォーマットが正確に出力されます。

OG-HA5-12G-T と OG-HA5-12G-T-ST は、ファイバー SFP 搭載モデルで、4K の HDMI 信号を長距離伝送できるシングルチャンネルの送信機として機能します。LC 規格または ST 規格の光ファイバーケーブル 1 本を用いて最大 10km 伝送できます。これらのモデルは SFP が組み付けられた状態で出荷されます。OG-HA5-12G の全機能に加え、オーディオ信号とビデオ信号を延長する機能も利用できます。

機能および設定のガイドラインについては、インストレーション & オペレーションガイド(ユーザーマニュアル) を参照してください。最新版のドキュメントは、www.aja.com の [OG-HA5-12G サポートページ](#) でご確認ください。

v1.0 での機能

v1.0

- ・ HDMI 2.0 から 4K/UltraHD 60 fps に変換し、2 系統の 12G-SDI として出力
- ・ 4:4:4 で最大 4K 60p 入力に対応
- ・ 12-bit ワークフロー対応
- ・ 最大 UltraHD 60p の EDID LFR および HFR エミュレーション
- ・ リアルタイム HDMI HDR インフォフレームデータレポート
- ・ HDR 信号のメタデータのパススルーと上書き
- ・ 小数点値と整数値間での簡易フレームレート変換 (FRC)
- ・ HDMI またはアナログオーディオ入力からエンベッドオーディオを選択可能
- ・ AC-3 (Dolby Digital) と E-AC-3 (Dolby Digital Plus) 圧縮オーディオのエンベッドオーディオをパススルー、DD+ Atmos (DD+ JOC) にも対応
- ・ Ross DashBoard ソフトウェア経由で監視と制御

- ・カード毎に最大 14W を消費
- ・5 年間保証

DashBoard 初回設定、制御およびファームウェア更新

注記：DashBoard 対応の AJA openGear カードのファームウェア更新、各種設定およびモニタリングには、無料の DashBoard ソフトウェアが必要となります。

1. OG-Hi5-12G および SFP 搭載モデル 用のファームウェアについては、下記 AJA ダウンロードページを参照ください。新しいファームウェアが掲載されている場合は、ダウンロード後 zip ファイルを解凍してください。

<https://www.aja-jp.com/downloads/category/119-opengear-cards>

2. DashBoard コントロールシステム・下部のパネル上にある“Upload” ボタンをクリックすると、ソフトウェアアップロード画面 (“Upload Software”) が開きます。
3. ソフトウェアアップロード画面で、“Browse” (ブラウズ) をクリックします。
4. ダウンロードし解凍した zip ファイル内にある .bin 拡張子のファイルを選択し、“Open” をクリックします。ソフトウェアアップロード画面では、選択したファイル名が表示されます。
5. “Finish” をクリックします。
6. ファイルのアップロードが完了すると、ステータス上で“Complete” (完了) と表示されるので、“OK” をクリックします。
7. カードに搭載されているソフトウェア/ファームウェアのバージョンは、DashBoard の各カードのタブ画面で確認できます。

注記：ソフトウェアのアップロードを開始する前に、DashBoard ではそれまでにインストールされているファームウェアを一旦消去する作業を 20秒ほど行います。